社員各位

定額減税対応について

近年、急激な物価高騰により緊急対応として、令和5年12月「定額減税制度」が閣議 決定されました。

当該制度は、6月給与支給開始から本人+対象者(配偶者及び扶養親族)一人につき所得税3万円及び住民税1万円の合計4万円を本人から減額する制度でございます。

定額減税の対象人数を確認する必要がございますので、「源泉徴収に係る定額減税のための申告書」の記載にご協力お願い申し上げます。

※下記の【記載対象者】は全てご記入してください。

【記載対象者】

- 1. 「源泉徴収に係る申告書として使用」・・・✔を入れる
- 2. 同一生配偶者・・・収入103万以下(所得48万以下)
- 2. 扶養親族・・・・・収入103万以下(所得48万以下)

※16歳未満の方も必ず記入してください

「総税務署長」給 与の支払者の				ヤマカワ タロウ		一 変数のしかさ
名称(氏名)	○○○○本 #10年書の第日を受けた終年の大阪書(9		(フリガナ) あなたの氏名			
丛 人 番 号	1 1121213 314	1415 5161617	7	山川 太郎		医
給 与 の 支 払 者 の 税務署長所 在 地 (住 所)	△△市○○	町2-3	あなたの住所 又 は 居 所	△△市○○町1-2-	3	源泉徴収に 係る単作書
を含みます。以下同じです。) (この中告書は、あなたが「給与)	記載した源泉控除対象配偶者 所得者の扶養控除等(異動)	「や扶養親族及び「給与 中告書」を提出した新	5所得者の配偶者控除等 給与の支払者にしか提出:	するものです。ただし、「輸与所得者の挟養控除 申告書」に記載した控除対象配偶者については、 することはできません。 4 ます・)の支払日までに、この申告書を給与の支払	この申告書への記載	は不要です。
令和6年6月1日以後) ※ 「総ち所得者の挟養控験 して提出する必要はありま ※ この申告書に関一生料数	最初に支払を受ける給き 等(異動)申告書」に記載した せん。 個者又は挟養親族を記載して提	チ(賞与を含みます。 無来控除対象配件者、控制 出した場合であっても、4	。)の 源泉徴収から、 除対象共養領族又は16歳未済 年末調整において定額域税割	以下に配載した者について定額減税額を加 の大奏報源については、既に京額減税額の加算の対象 を加算して控除を受ける際には、同一生計配偶者につい 申申書。又は「甲末調整に係る定額減税のための申告	加算して控除を受 こ含まれていますので、 いては「給与所得者の配	けます。 この申告書に記載 (偶者控除等申告書
年末調整において、じ ※ 「給与所得者の快養控除		て定額減税額を加 控除対象共養税族又は168	算して控除を受けます。 歳未満の共業収集についてに	。 、既に定額減税額の加算の対象に含まれていますので、		
申告書を提出する必要があ 減税のための申告書」(兼 歩 「源泉像収に保る定額減 氏名等」に記載してくださ	ります。この場合、「給与所得 用様式)を使用して提出してく 挺のための申告書」に挟業競抜 い(この挟業競抜について「給	者の配偶者控除等申告書」 ださい。 を記載して掲出した場合: 与所得者の快養控除等(3	」を提出する人は、この申号 であっても、「給与所得者の	等を記載して幾出した場合であっても、年末調整の無・書への記載は不要となりますので、「給母所得者の配別 技養控除等(異数) 甲告書」に記載していない技養報 出する場合は、この申告書を提出する必要はありません	関者技験等申告書 兼 年 長については、この申告	末調整に係る定額
申令事を使出する要素が 東京事を使出する要素が 歳級のための申寄書(申 「無無数な成名を翻議 氏名等」に影載してくださ (注) 使用する目的に応じて、い □一生計配偶者の氏名等	ります。この場合、「給与所得 用様式)を使用して提出してく 視のための単音書。は挟養観象 い (この挟養類象について「給 ずれかの□にチェックを付け	者の配偶者控除等半告書」ださい。 を記載して掲出した場合・ 本所得者の快業控除等(3 すてください。	』を提出する人は、この申号 であっても、「給与所得者の 異動)申告書」に記載して負	審への影響は不要となりますので、「給布所得者の配合 技養開始等(異動)平名書」に影響していない技養観 出于る場合は、この中名書を提出する必要はありません	関者技験等申告書 兼 年 長については、この申告	末調整に係る定額
第一項 (ります。この場合、「給与所得 用様式)を使用して提出してく 視のための単音書。は挟養観象 い (この挟養類象について「給 ずれかの□にチェックを付け	者の配偶者控除等半告書」ださい。 を記載して掲出した場合・ 本所得者の快業控除等(3 すてください。	』を提出する人は、この申号 であっても、「給与所得者の 異動)申告書」に記載して負	審への影響は不要となりますので、「給布所得者の配合 技養開始等(異動)平名書」に影響していない技養観 出于る場合は、この中名書を提出する必要はありません	関者技験等申告書 兼 年 長については、この申告	末調整に係る定額 書の「扶養親族の 本年中の合計別
※ (加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ります。この場合、「絵本所得 用様式)を使用して提出してそ 投助しても、 は美観族い (この扶養競談について「給 ずれかの□にチェックを付す 年中の合計所得金額の見稿!	者の配偶者独除等率告書。ださい。 ださい。 を記載して掲出した場合 を取得者の決策控除等(3 すてください。 額が48万円を超える場	」を提出する人は、この申号 であっても、「給与供得者の 具動)申告書」に配載してを 合には、控除を受けるこ 生年月日 野畑	(書への影響は不要となりますので、「絵も所得者の配管 対表要指等(集製) 甲序書」に影響していない地景報 出出する場合は、この申存書を提出する必要はありません とはできません。	與者控除等申告書 兼 年 系については、この申告 い。)。 	末調整に係る定額
## 第4 代表11 するためから	のます。この場合、「総ち四海 用原力 を使用してで抵出してく 概のための申告書」に扶養課誌 いての残業報酬のにテェックを付け 年中の合計所得金額の見嫌 型 2 2 3 3 4 4	者の配偶者的除等率告書。 ださい。 を記載した場合した場合 中所再省の計算物験等 (3 すてください。 類が48万円を超える場 等 号	を発出する人は、この中日 であっても、 総与妖詩者と 同義) 中会者 に記載して 合には、控除を受けるこ 生年月日 明年 7 大平	議会の配離は不要となりますので、「総合所得等の配 体養照除等(風動)中保書; に記載していない快養假 加する場合は、この中容等を提出する必要はありません とはできません。 配偶者の住所又は服所 5 △ 本市 ○ 町 1 − 2 − 3	集者投除等単件書 兼 年 条については、この単告 い。)。 	末調整に係る定額 書の「扶養報族の 本年中の合計団 金額の見機制
## 毎年後刊するた例のから	のます。この場合、「総ち四海 用原力 を使用してで抵出してく 概のための申告書」に扶養課誌 いての残業報酬のにテェックを付け 年中の合計所得金額の見嫌 型 2 2 3 3 4 4	者の配偶者的除等率告書。 ださい。 を記載した場合した場合 中所再省の計算物験等 (3 すてください。 類が48万円を超える場 等 号	を発出する人は、この中日 であっても、 総与妖詩者と 同義) 中会者 に記載して 合には、控除を受けるこ 生年月日 明年 7 大平	議会の配離は不要となりますので、「総合所得等の配 体養照除等(風動)中保書; に記載していない快養假 加する場合は、この中容等を提出する必要はありません とはできません。 配偶者の住所又は服所 5 △ 本市 ○ 町 1 − 2 − 3	集者投除等単件書 兼 年 条については、この単告 い。)。 	末調整に係る定額 書の「扶養親族の 本年中の会計形 金額の見積等 200,000
## # # # # # # # # # # # # # # # # # #	のます。この場合、「総も物理 用原力 を使用してく 限のための音音」に決策要は がすれかの口にチェックを付け 年中の合計所得金額の見慮 報 人	者の配偶者的除等等音楽 さい。 を影像して提出した場合 かが房者の片葉的味噌 すてください。 類が48万円を超える場 等 5 5 5 6 6 7 7	を使出する人は、この中で であっても、「給与所得者の 異面) 中労毒」に記載して対 合には、短除を受けること 大平 には、統殊を受けること ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(毒への配離は不要となりますので、「給本所等等の配い 快養開除等 (集動) 中分書」に記載していない快養報 出力を場合は、この申分書を提出する必要はありません とはできません。 配偶者の住所又は提所	需要控除等等名書 兼 年 新江ついては、この学祭 新江ついては、この学祭 が、)。	末調整に係る定額 書の「扶養親族の 本年中の会計形 金額の見積等 200,000
### ### #### ########################	のます。この場合、「総も物理 用原力 を使用してく 限のための音音」に決策要は がすれかの口にチェックを付け 年中の合計所得金額の見慮 報 人	帯の風機能的等等作者 ださい。 を計載した場合 大学者の大学的 がはあり、 がはあり、 を加載した場合 がはあり、 を加載した場合 が の の の の の の の の の の の の の	を発出する人は、この中の であっても、 給与状序をで であっても、 記与状序をで を には、 控除を受けるこ	(書への配載は不要となりますので、「総も所得客の配別 (表養的除等(集動) 中保書」に記載していない快養報 出する場合は、この中容書を提出する必要はありません とはできません。 配偶客の住所又は器所 はできません。 快養裁集の住所又は服所	無常招除等中名書 兼 年 解については、この中名 版 の では、 この中名 版 の では、 この中名 版 四 版 四 版 四 版 四 版 四 版 四 版 四 版 四 版 四 版	末調整に係る定額 書の「扶養報族の 本年中の合計団 金額の見機制

以上